

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	英語
科目基礎情報					
科目番号	0092		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	電子制御工学科		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	後期:2	
教科書/教材	Reading Compass (三修社)				
担当教員	松尾 秀樹				
目的・到達目標					
① 必要な情報を英文から読み取ることができる。(C3) ② 学習した文法知識を演習解決に利用できる。(C3) ③ 短い英文を聞き、その概要を理解することができる。(C3) ④ 自らの意図が伝わるだけの英文を作成することができる。(C3) ⑤ 自らの英語力を向上させる目的で自主的に自学自習に取り組むことができる。(C3)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 (到達目標①)	必要な情報を英文から十分に読み取ることができる。	必要な情報を英文からある程度読み取ることができる。	必要な情報を英文からほとんど読み取ることができない。		
評価項目2 (到達目標②)	学習した文法知識を演習解決に十分利用できる。	学習した文法知識を演習解決にある程度利用できる。	学習した文法知識を演習解決にほとんど利用できない。		
評価項目3 (到達目標③)	短い英文を聞き、その概要を十分理解できる。	短い英文を聞き、その概要をある程度理解できる。	短い英文を聞いても、その概要をほとんど理解できない。		
評価項目4 (到達目標④)	自らの意図が伝わるのに十分な英文を作成することができる。	自らの意図をある程度伝えられる英文を作成することができる。	自らの意図を伝えられる英文をほとんど作成することができない。		
評価項目5 (到達目標⑤)	自らの英語力向上を目指し、自主的に自学自習に取り組むことができる。	自らの英語力向上を目指し、ある程度自学自習に取り組むことができる。	自らの英語力向上を目指すことなく、ほとんど自学自習に取り組むことができない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 C-3 JABEE a JABEE f					
教育方法等					
概要	科学技術的内容や一般教養的な内容を含むリーディング教材を読み、課題解決に必要な情報を英文から見つける能力を育成していく。 また、TOEICの練習問題に取り組むことで、各学習者の実践的英語能力の現状を確認しながら、そのレベル向上を目指す。				
授業の進め方と授業内容・方法	予備知識：高専3年間で習得した文法事項・語彙 講義室：各HR教室 授業形式：講義・演習 学生が用意するもの：英和辞書（電子辞書を含む）、配布プリント				
注意点	評価方法：試験（90点）(C3)および提出物（10点）(C3)の計100点で評価する。2回の定期試験の平均が60点以上で合格とする(C3)。 自己学習の指針：予習として新出単語の語義調べや全体の概要把握を行うこと。復習として、単語を覚えることや、構文の理解を深めることなどを心がけ、英語力向上に努めること。また、TOEICにも対応できるよう継続して自学自習に取り組むこと。 オフィスアワー：月・水 16:10~17:10				
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス/Unit 4 Space Shuttle Challenger	授業の概要を理解できる。技術者倫理の分野では代表的な事例について背景を理解できる。	
		2週	Unit 4 Space Shuttle Challenger	Space Shuttle Challenger（前半）に関する英文を読み内容が理解できる。	
		3週	Unit 4 Space Shuttle Challenger	Space Shuttle Challenger（後半）に関する英文を読み内容が理解できる。	
		4週	Unit 4 Space Shuttle Challenger/Unit 5 Honesty Wins	Unit 4のまとめのExercisesに取り組み、内容・構文・語句の理解を深めることができる。	
		5週	Unit 5 Honesty Wins	技術者倫理の分野では代表的なシティコープの本社ビルに関する英文を読み内容が理解できる。	
		6週	Unit 5 Honesty Wins	シティコープの本社ビルに関する英文（後半）を読み内容が理解できる。	
		7週	Unit 5 Honesty Wins	Unit 5のまとめのExercisesに取り組み、内容・構文・語句の理解を深めることができる。	
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	中間試験の返却および解説 Unit 6 The Miracle on the Hudson	映画にもなった「ハドソン川の軌跡」に関する英文（前半）を読み内容が理解できるようになる。	
		10週	Unit 6 The Miracle on the Hudson	「ハドソン川の軌跡」に関する英文（前半）を読み内容が理解できるようになる。	
		11週	Unit 6 The Miracle on the Hudson	「ハドソン川の軌跡」に関する英文（後半）を読み内容が理解できるようになる。	
		12週	Unit 6 The Miracle on the Hudson	Unit 6のまとめのExercisesに取り組み、内容・構文・語句の理解を深めることができる。	
		13週	Unit 7 The Family Bridge	技術者倫理の分野では代表的ブルックリン橋建設に関する英文（前半）を読み内容が理解できる。	
		14週	Unit 7 The Family Bridge	ブルックリン橋建設に関する英文（後半）を読み内容が理解でき	

	15週	Unit 7 The Family Bridge	Unit 7のまとめのExercisesに取り組み、内容・構文・語句の理解を深めることができる。	
	16週			
評価割合				
		試験	課題に対する取り組み状況	合計
総合評価割合		90	10	100
基礎的能力		90	10	100
専門的能力		0	0	0
分野横断的能力		0	0	0